

新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）の 効果検証について

1 制度の趣旨

地方がそれぞれの特性に応じた発展を遂げることができるよう、日本経済成長の起爆剤としての大規模な地方創生策を講ずるため、地方公共団体の自主性と創意工夫に基づき、地域の多様な主体の参画を通じた地方創生に資する地域の独自の取組を、計画から実施まで強力に後押しする。

2 制度の概要

- (1) 地方公共団体の自主性と創意工夫に基づいた、地方創生に資する地域の独自の取組を支援
 - ※ 地方版総合戦略に基づき、目指す将来像及び課題の設定等、KPI 設定の適切性に加え、自立性、地域の多様な主体の参画等の要素を有する事業を支援
- (2) ソフト＋ハードや分野間連携の事業を一体的に支援するとともに、国による伴走支援を強化
- (3) 事業の検討・実施・検証の各段階において、地域の多様な主体が参画する仕組みの構築

3 KPI（重要業績評価指標）の達成状況について

内閣府から交付を受けて、令和7年度に取り組んだ第2世代交付金事業の実績額やKPI（重要業績評価指標）の達成状況は以下のとおりです。

（単位：円）

採択年度	交付金実績額	事業数	KPI			
			設定数	達成	未達成	未確定
令和5年度	75,844,740	6	23	12	6	5
令和6年度	103,173,896	3	12	4	6	2
令和7年度	534,418,653	6	20	9	7	4
合計	713,437,288	15	55	25	19	11

※ 詳細（KPI 達成状況一覧）は、参考資料2のとおり。

4 今後の取組方向について

県議会や三重県地方創生検証会議等での効果検証の結果をふまえ、今後の地域未来交付金（旧第2世代交付金）事業の実施に生かしていきます。